

## 都内初となるDXの取組！

### デジタル化により建築行政手続きを効率化します

建築行政手続きにおける定例的な業務を、官民連携によりデジタル化し、区と指定確認検査機関双方で大幅な効率化を実現します。

住宅都市杉並区（人口約 57 万人。23 区中 6 番目に多い）は宅地率が 70%、その内、住宅地が 80%で、23 区で最も高い比率となっています。

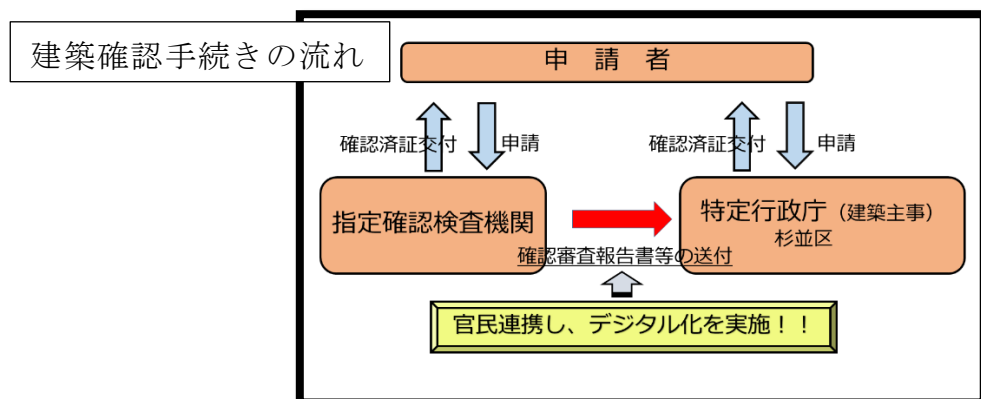
こうしたことを背景に、現在、区では年間約 3,000 件もの建築確認があり、手続きの効率化は喫緊の課題となっていました。

現在、区内では、建築確認の 97%を民間の指定確認検査機関が担っており、区はその過程で確認審査報告書等を紙ベースで郵送により受け取っています。そして、その大量の紙資料を電子データベース化するために、専属の職員を配置してスキャンやシステムへの入力作業を行っています。また、この紙ベースの業務について、区と取引のある指定確認検査機関にヒアリングしたところ、紙資料は区をはじめとした行政機関への提出のためだけに作成・郵送しており、大きな負担を感じていることが分かりました。

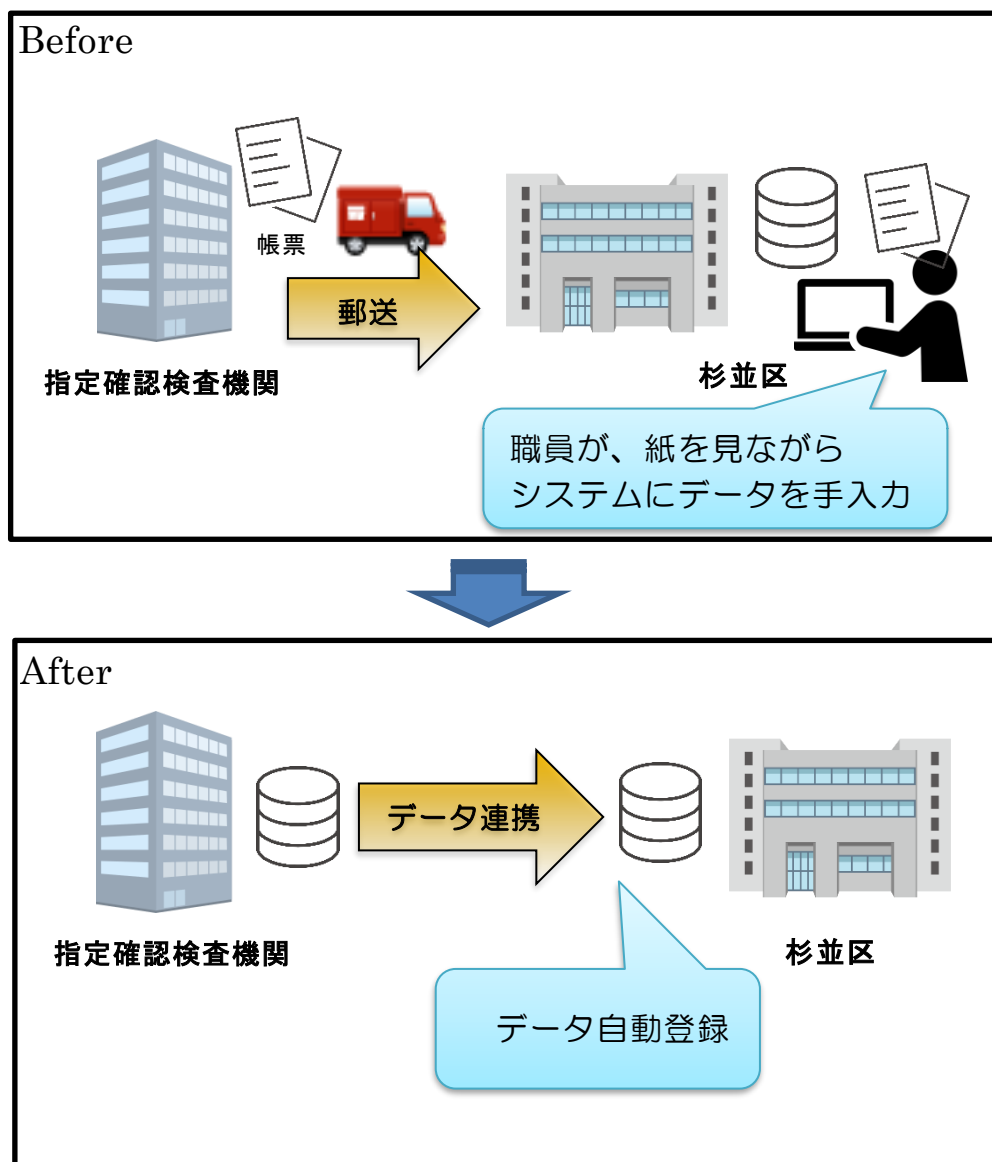
区では、これまでも課題解決に向けての取り組みを進め、昨年 6 月には紙資料を自動的に電子データベース化する AI-OCR（※）を試験的に導入しましたが、十分な費用対効果が得られませんでした。その後、システムベンダーと国の外郭団体（ICBA）と 3 者でさらに協議を進め、このたび、確認審査報告等を指定確認検査機関から電子データの状態でそのまま区のデータベースシステムに送受信できる新たなスキームを構築することとしました。トライアル運用は令和 3 年 4 月から開始する予定です。

これにより、杉並区の建築行政手続きにおいて大幅な効率化が期待できますが、本取組は都内初の取り組みであり、他区、さらには全国の自治体に広がれば建築行政における大きな業務改善につながる可能性もあります。

昨今のコロナ禍において、行政のデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進は社会的要請であり、建築行政分野において杉並区がその先駆けとなるよう、積極的に取り組みを進めてまいります。



デジタル化のイメージ



※AI-OCR (Optical Character Recognition/Reader)

印刷された活字や手書き文字を光学的にスキャニングし、テキスト化する機能を、AI (人工知能) により自動制御するもの。

【問い合わせ先】

都市整備部建築課：03-3312-2111 (内線 3321)

総務部広報課：03-3312-2111 (代表)